

『もつとそばにきて』

著：香阪 彩

ill：明神 翼

「なんだよ上原。急に止まんなよ」

「——っ」

沢村の抗議が必要以上に大きく響いた気がして、祐一は焦った。

でかい声出すなと友人を咎めるより先に、こちらに気づいた勝利と目が合ってしまう。

驚いて振り返ったのではなく、はじめから祐一のことを待っていたようすの勝利が、人の流れに逆らいながら近寄ってくる。

「……………行こう」

「って、え……………え？」

勝利から逃げるように立ち去りかけた祐一に、状況が飲み込めるわけもない沢村が慌てたようすで向こうとこっちとを見比べる。

「おい、上原——」

「祐一！」

まだ距離のあるうちから、鋭い声で名前を呼ばれて、祐一の体が強ばった。

「待てよ。話があるんだ」

言いながら、どんどん勝利が近づいてくる。

彼の勢いにのまれてしまった祐一の足は、それ以上一步も動かなくなった。強い視線を送ってくる勝利から目を逸らせないまま、立ちつくすしかできない。

すぐ傍までやって来て、ひとつ息をついた勝利が、こちらを見据えてゆっくりと口を開く。

「なんで携帯の電源切ってたんだ。オレは、電話するって言っただろう」

声の調子は普段と変わらなかったが、明らかにその目が怒っていた。それを見たとなん、祐一のほうにも怒りがこみあげてきた。

「そんなの、オレの勝手だろ」

「なに」

「おまえは話あるかもしれないけど、オレにはない。おまえの顔だって……………」

見たくない続けようとしたときだった。

「あれ、カツちゃん？」

突然、歩の高い声が響きわたって、祐一は言葉を途切れさせていた。

「っ——」

反射的に声のしたほうを振り返れば、校舎の階段を下りてきたらしい歩が、驚いたような顔をしてこちらに向かってくるところだった。

「どしたの、こんなとこで。珍しいじゃん」

「歩……………」

「今日って、たしか昼からじゃなかった？ なに、なんかあった？」

くると大きな目を輝かせながら勝利のほうに駆け寄った歩が、矢継ぎばやに問いかけていく。

法学部と文学部は同じ校舎を共有しているのに、彼の登場をまったく予想していなかったらしい勝利が、ひどくうろたえたように目線を泳がせた。

「ああ……………いや、おまえにはなんもないんだけどな」

「じゃ、上原さんと約束でもしてたの」

まさかねとでも言いたげな顔つきでチラリと振り返られ、祐一の頭に血が上る。

「そんなわけないだろ」

短く吐き捨てた祐一に、勝利がおいと咎める声を出したが、聞こえないふりで続けた。

「オレとショーリは、なんでもない……………話すことなんか、なんにもないよ」

「ふうん」

祐一の台詞に、いかにも疑わしげな相槌をうったくせに、勝利のほうを向いたときの歩は、満面の笑顔になっていた。

「じゃ、オレと昼ごはん食べに行こっ」

「、おい————」

勢いよく腕をとられた勝利が、面食らったような声を出したが、彼を振り払いはしなかった。

「ちょ、待てよ歩。オレは……………」

「ほら、早く行かないと、食堂の席なくなっちゃうよ？」

口では逆らうようなことを言っているが、勝利は強引にことを進められるのに弱いらしい。抵抗らしい抵抗を見せないまま、腕をからめてきた歩にずるずる引きずられて、その場を離れかけた。

歩の強引さに呆れるよりも、それを拒まない勝利を見るのがつらかった。やはりこのふたりは特別な関係にあるんだと、あらためて思い知らされた気分になる。

勝利の顔を見るだけでもつらいのに、こんなふうには仲の良いところを見せつけられて、平静でなんかいられない。

かといってふたりを怒鳴りつけることもできず、祐一はぎくしゃくとした動きで彼らから視線を引き剥がした。

行こうと傍らの沢村を促して歩きだせば、わけもわからないまま成り行きを見守っていた彼が、あわてた顔でついてくる。

「おい、いいのか。なんかまた————」

「祐一って！」

勝利のほうを視線で指した沢村が言いかけるのに被せるように、勝利の呼ぶ声がする。

「電話するから。今度は電源入れとけよ」

「っ……………」

勝利の言葉に大きく息をのんだ祐一は、勢いよく彼のほうを振り返った。

「電話なんかしてくんな。話があるなら、今すればいいだろ」

「っそ……………」

突然の反論に絶句した勝利が、弱ったようすで腕にしがみついている歩のほうに視線を送る。

そのしぐさに、ますます怒りがこみあげてきた。足早に勝利のほうに戻って、仁王立ちになった祐一は、彼の鼻先に指をつきつけて言い放った。

「そんなに、歩くんに知られたくないのかよ。そんっ、そんなの勝手だ。話があるって、

ショーリ、自分のことばかりじゃないか」

本文 p148～152 より抜粋

作品の詳細や最新情報はダリア公式サイト「ダリアカフェ」をご覧ください。

ダリア公式サイト「ダリアカフェ」

<http://www.fwinc.jp/daria/>